

取扱説明書

外付ハードディスク
HDEL-UT シリーズ



- **【ハードウェア保証書】** は本製品の箱に印刷されています。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。
詳しくは **【ハードウェア保証規定】** (35 ページ) をご覧ください。
- **【安全のために】**、**【使用上のご注意】** を必ずご確認ください。(30 ~ 32 ページ)

もくじ

はじめに

内容物を確認する.....	3
---------------	---

パソコンで使う

Windows で使う場合	4
Mac OS で使う場合.....	8
フォーマットが必要な場合	10
よくあるご質問	14

テレビ / チューナー / レコーダーで使う

テレビ / チューナー / レコーダーにつなぐ	16
つないだ機器に登録する	17

仕様

動作環境.....	27
各部の名称・機能.....	28
ハードウェア仕様.....	29

お守りください

安全のために.....	30
使用上のご注意	32

アフターサービス

お問い合わせについて.....	33
修理について	34
ハードウェア保証規定.....	35

はじめに

【重要】データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

●バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVDなど)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

内容物を確認する

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ハードディスク (1台) | <input type="checkbox"/> ACアダプター (1個) |
| <input type="checkbox"/> USBケーブル (1本) [約1m] | <input type="checkbox"/> 横置用ゴム足 (4個) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) | |

本製品には「ハードディスクかんたんセットアップ」アプリが保存されています

本製品内にはあらかじめ、Windows用「ハードディスクかんたんセットアップ」アプリが保存されています。

テレビに接続し登録したり、フォーマットをおこなうと、保存されているデータが消去されますのでご注意ください。使用方法は、【ハードディスクかんたんセットアップのご案内】(6ページ)をご覧ください。

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしてください。シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)



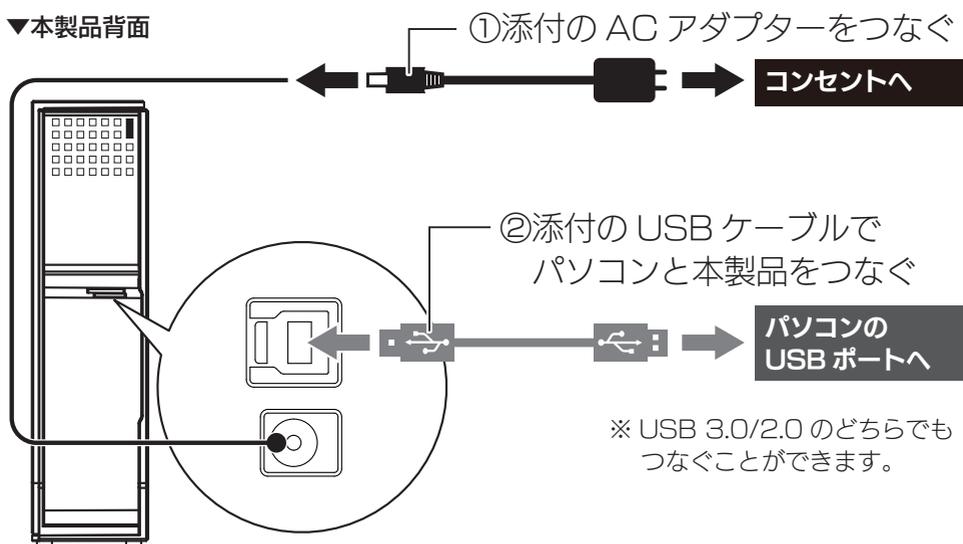
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

パソコンで使う

Windows で使う場合

つなぐ

▼本製品背面



確認する



HDD アイコンが追加されて
いれば本製品を使用できます。

本製品のアイコンが分からない場合

いったん【取り外す場合】(5 ページ) を実行し、消えたアイコンが本製品のアイコンです。

本製品のアイコンが表示されない場合

【よくあるご質問】(14 ページ) をご覧ください。

取り外す場合

パソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

※ Windows 8 の場合は、事前にデスクトップモードに切り替えてください。

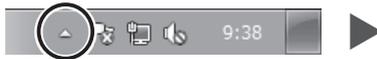
1



①画面右下のタスクトレイのリムーバブルツールをクリック

②本製品の表示をクリック

リムーバブルツールが表示されていない場合



2 メッセージを確認し、画面の指示にしたがう

3 本製品を取り外す

ご注意

ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

ハードディスクかんたんセットアップのご案内

本製品には、以下のアプリをかんたんにインストールしてお使いいただけるように「ハードディスクかんたんセットアップ」を保存しています。

「ハードディスクかんたんセットアップ」のご利用方法は次ページをご覧ください。

 SyncWith	フォルダー間を定期的に同期します。 簡単なバックアップも可能です。
 マツハ Copy	フォルダー間へのファイルコピーを高速化し、デジカメ写真の保存もスピーディにおこなえます。 コピー機能もより便利に進化しました。
 エコ番人	ディスプレイやハードディスク、ブルーレイ・DVD ディスクドライブの無駄な電力を自動でカットする、節電アプリです。

※インストールしなくても、本製品は使用できます。

※対応 OS は本製品の対応 OS と異なる場合があります。詳しくは、各アプリの製品ページをご覧ください。製品ページは IOAPPs のページからアクセスできます。以下の【IOAPPs のダウンロード方法】をご覧ください。

ハードディスクのデータを完全消去する場合（本製品を廃棄・譲渡する場合）

フォーマットするだけでは、データを完全に消去することはできません。データを復旧できないように完全消去するために、DiskRefresher3 SE をご利用ください。本製品を譲渡・廃却する際のデータ流出を防ぐことができます。

DiskRefresher3 SE は「ハードディスクかんたんセットアップ」ではインストールできません。以下の【IOAPPs のダウンロード方法】でダウンロードしてください。

IOAPPs のダウンロード方法

以下のアイ・オー・データ機器のサイトにアクセスし、必要なアプリをダウンロードしてください。

<http://www.iodata.jp/promo/soft/>

「ハードディスクかんたんセットアップ」アプリを利用する

本製品内に必要なデータがある場合は、ご利用前にバックアップしてください

「ハードディスクかんたんセットアップ」での選択によっては、本製品のデータを消去する場合があります。「ハードディスクかんたんセットアップ」を実行する前に必要なデータをバックアップしてください。本製品のデータを消去後に、再度「ハードディスクかんたんセットアップ」をご利用になる場合は、以下の弊社のホームページにアクセスし、箱や本製品に記載の型番で検索してダウンロードしてください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

- 1 本製品をパソコンにつなぐ
※【Windows で使う場合】(4 ページ) 参照

- 2 本製品 [HDEL-UT] を開く
 - 操作の選択画面が表示された場合は、[フォルダーを開いてファイルを表示] を選択します。
 - 操作の選択画面が表示されない場合、スタート→[コンピューター]→[HDEL-UT] をクリックします。

【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合
[はい] をクリックします。

- 3  [かんたんセットアップ] アイコンをダブルクリック

かんたんセットアップ

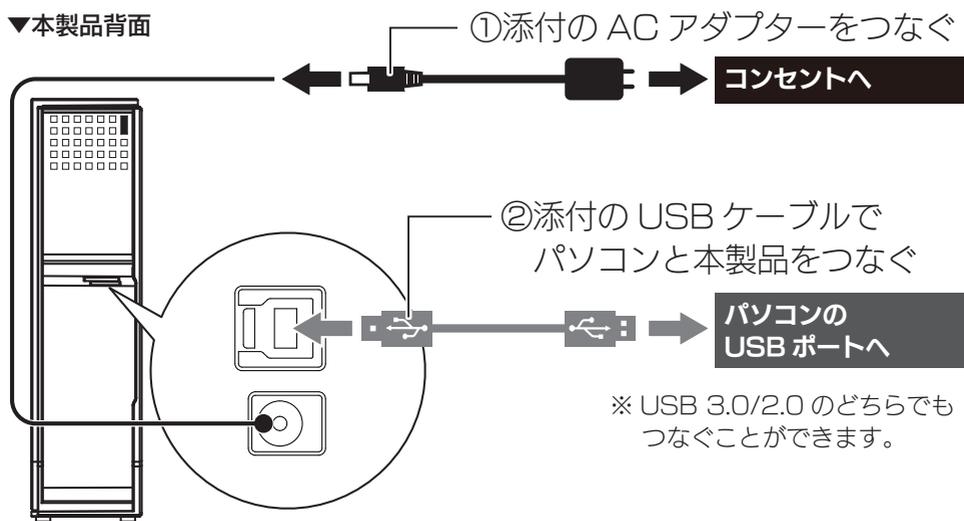
- 4  [開始する] をクリック

ハードディスクかんたんセットアップを開始します。
これ以降は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

Mac OS で使う場合

つなぐ

▼本製品背面



本製品をフォーマットする必要があります

本製品は、出荷時設定で Windows 用の NTFS フォーマットでフォーマットされています。Mac OS で使用する場合は、つないだ後、フォーマットする必要があります。

Time Machine 機能画面が表示された場合のご注意

本製品をパソコンに接続した際、Mac OS の仕様で Time Machine 機能の画面が表示されることがあります。[消去]をクリックすると、本製品のフォーマットがはじまりますので、誤ってデータを消さないようご注意ください。

※ Time Machine 機能については、Apple 社ホームページをご確認ください。
本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品をフォーマットする

本製品は、出荷時設定で Windows 用の NTFS フォーマットでフォーマットされています。Mac OS で使用する場合は、フォーマットする必要があります。

フォーマット方法は、【フォーマットが必要な場合】(10 ページ)をご覧ください。

確認する



HDD アイコンが追加されていれば本製品を使用できます。

※本製品の名前は、フォーマット時に任意に入力したものになります。

アイコンがデスクトップに表示されない場合

- ① [Finder] → [環境設定...] をクリック
- ② [一般] タブ → [ハードディスク] にチェックをつける

取り外す場合

パソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

1



本製品のアイコンをごみ箱に捨てる

2

本製品を取り外す

ご注意

ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。



フォーマットが必要な場合

フォーマットとは、本製品をお使いのパソコンでデータを読み書きできる状態にする作業です。

お使いの OS により認識できるフォーマット形式が異なります。

本製品は NTFS フォーマット済みのため、Windows で使用する場合はフォーマットする必要はありません。ただし、以下の場合フォーマットが必要となります。

- Mac OS で使用する場合
- テレビなどの AV 機器で使用していた HDD をパソコンに接続して使用する場合
- Mac OS 拡張形式 (HFS+) で使用していた HDD を Windows パソコンに接続して使用する場合

本製品を Mac OS のみで使用する場合

Mac OS 拡張形式 (HFS+) でフォーマットしなおしてください。

(フォーマット方法は、【Mac OS でフォーマットする場合】(13 ページ) 参照)

(Mac OS のみ) 本製品を TimeMachine 専用のドライブに設定する場合

TimeMachine の設定を促す案内にしたがって設定してください。

案内が表示されなかった場合は、本製品をフォーマットしたのち、[システム環境設定] から TimeMachine の設定をしてください。

フォーマット形式

NTFS ^{※1}	Windows 用のファイルシステムです。	Windows	読み込み / 保存 可
		Mac OS	読み込みのみ可
FAT32 ^{※1※2}	Windows と Mac OS ^{※3} のどちらでも使用できるファイルシステムです。	Windows	読み込み / 保存 可
		Mac OS	読み込み / 保存 可
exFAT ^{※1}	Windows と Mac OS のどちらでも使用できるファイルシステムです。	Windows	読み込み / 保存 可
		Mac OS	読み込み / 保存 可
Mac OS 拡張形式 (HFS+) ^{※4}	Mac OS 専用の形式です。	Windows	不可
	Mac OS 上でフォーマットが必要です。	Mac OS	読み込み / 保存 可

※1 【Windows でフォーマットする場合】(11 ページ) 参照

※2 4GB 以上のファイルは扱えません。

※3 Mac OS でマウントすると時間がかかることがあります。

※4 【Mac OS でフォーマットする場合】(13 ページ) 参照

Windows でフォーマットする場合

ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットしない HDD はできるだけパソコンから取り外してください。誤って他の HDD をフォーマットしないようご注意ください。

1 I-O DATA ハードディスクフォーマッタを起動する

I-O DATA ハードディスクフォーマッタのインストール方法

- ①以下のサポートライブラリにアクセスする
<http://www.iodata.jp/r/2107>
- ②お使いの OS のアイコンをクリックしダウンロードする
- ③ダウンロードしたファイルをダブルクリックしインストールする

2



①フォーマットする HDD を選ぶ

② [次へ] をクリック

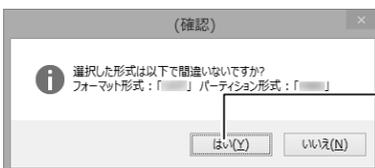
3



①フォーマット形式を選ぶ

② [次へ] をクリック

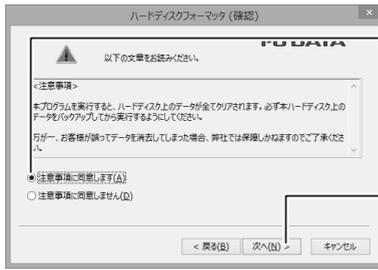
4



[はい] をクリック

フォーマットが必要な場合

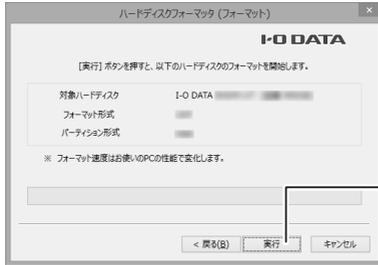
5



①内容をよく読み、選択する

② [次へ] をクリック

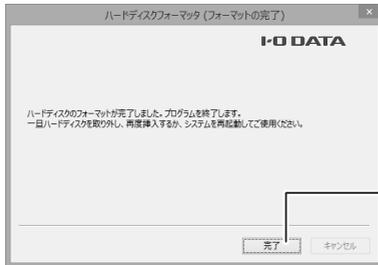
6



[実行] をクリック

フォーマットを開始します。
しばらくお待ちください。

7



[完了] をクリック

8 いったん本製品を取り外す

これでフォーマットは完了です。

Mac OS でフォーマットする場合

ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別のHDDなどにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットしないHDDはできるだけパソコンから取り外してください。誤って他のHDDをフォーマットしないようご注意ください。

1 メニューから [移動] → [ユーティリティ] → [ディスクユーティリティ] をクリック

2

①本製品を選ぶ

②[パーティション] タブをクリック

③初期化の設定をする

④[適用] または [パーティション] をクリック

フォーマットの種類を選び方

Mac OSのみで使用する場合は、「Mac OS 拡張」から始まる名称のフォーマットで、1パーティションでを使用することをおすすめします。

※ 「Mac OS 拡張」の場合、Windowsでは認識できません。

3

[パーティション] をクリック
フォーマットを開始します。
しばらくお待ちください。

これでフォーマットは完了です。

よくあるご質問

本製品のアイコンがない (正常に認識されない)

- いったん取り外し、再度接続しなおしてご確認ください。
- 接続する USB ポートを変えてご確認ください。USB ハブに接続している場合は、パソコン本体の USB ポートに接続してください。
- Mac OS 拡張形式 (HFS+) の場合、Windows 上でアイコンが表示されません。Windows で使う場合は、フォーマットし直す必要があります。(フォーマットすると、データはすべて消去されます。)

「取り外しできません」と表示された

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外してください。それでも取り外せない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された

[はい] ボタンをクリックしてください。

パーティションの分け方や、コピー方法を知りたい

画面で見るマニュアル (Windows 編) をご覧ください。
弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib/>) にアクセスし、箱や本製品に記載の型番で検索してください。

テレビ / チューナー / レコーダーで使う

本製品をはじめてつなぐ際は、テレビ / チューナー / レコーダーに本製品を登録する必要があります。

※対応機器は、【動作環境】(27 ページ) でご確認ください。

ご注意

- テレビ / チューナー / レコーダーの操作については、各メーカーにお問い合わせください。(弊社ではサポートをおこなっておりません。)
- 登録 / 録画した番組について
 - ・登録は、はじめてつなぐ時のみです。次回からは必要ありません。
 - ・本製品をテレビ / チューナー / レコーダーに登録すると、本製品内のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、事前に他のメディア (HDD や DVD など) にバックアップしてください。
 - ・録画した番組が保存されている本製品を、他の機器につないで再生はできません。他の機器に登録すると、すでに保存されている番組はすべて消去されます。
 - ・パソコンとテレビ / チューナー / レコーダーで本製品を併用することはできません。テレビ / チューナー / レコーダーで登録、初期化すると、そのテレビ / チューナー / レコーダー専用のフォーマットになります。
 - ・故障などの理由でテレビ / チューナー / レコーダーや本製品を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。
- 使用について
 - ・テレビ / チューナー / レコーダーを視聴していなくても、番組表の更新でテレビ / チューナー / レコーダーの電源がオンになることがあります。この場合、本製品の電源もオンになります。
 - ・本製品を取り外す場合は、テレビ / チューナー / レコーダーの取り外し手順にしたがってください。録画中などに誤って本製品の取り外し、電源をオフにすると、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

本製品をつなぐテレビ / チューナー / レコーダーの取扱説明書を参照してください

①もくじを開き、USB HDD 接続関連のページを探す

※以下の項目例を参考にしてください。

項目例：【USB ハードディスクの接続をする】

【USB ハードディスクをつかう】

【USB ケーブルでつなぐ】

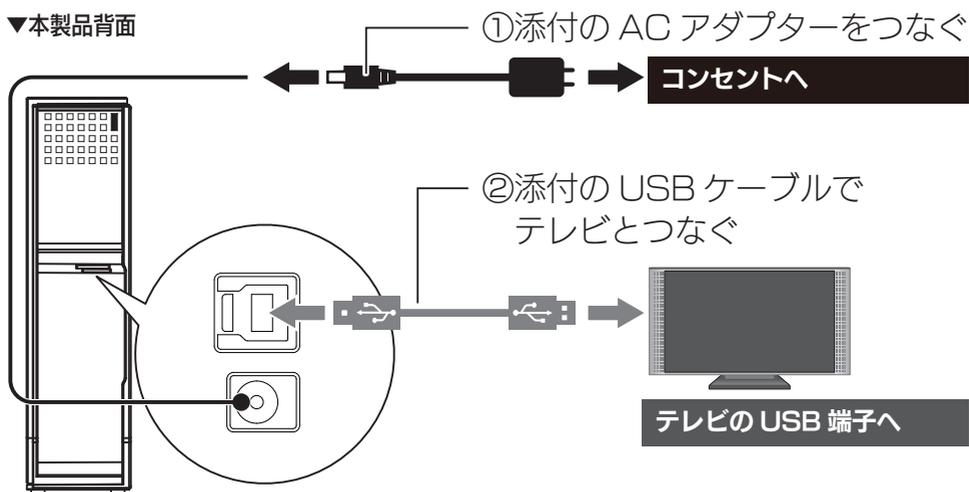
② USB HDD 接続関連のページで、本製品をつなぐ USB 端子を確認する

※録画用 HDD は、つなぐ端子が決まっている場合があります。

テレビ / チューナー / レコーダーにつなぐ

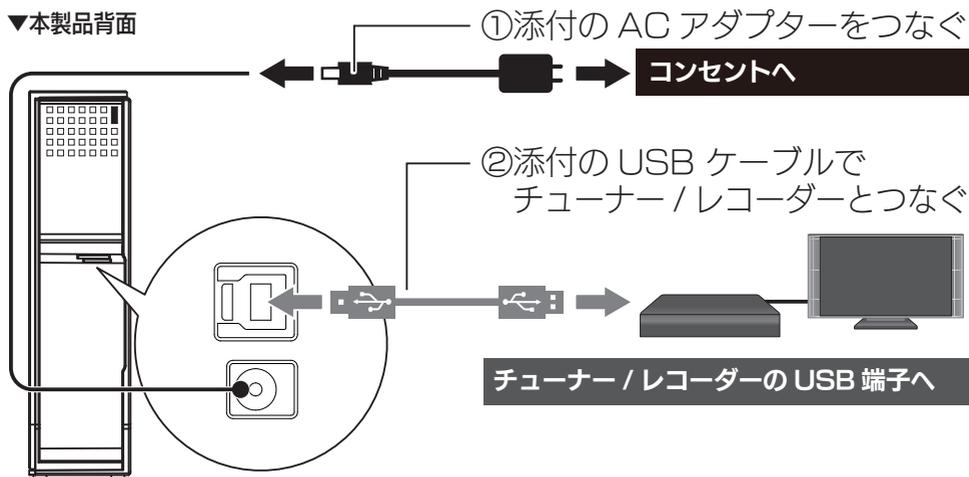
テレビにつなぐ場合

▼本製品背面



チューナー / レコーダーにつなぐ場合

▼本製品背面

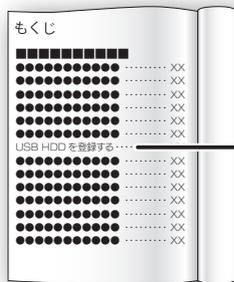


このあと、接続した機器で本製品の登録作業が必要です。(初回のみ)

つないだ機器に登録する

本製品をつないだ機器のリモコンを操作して、本製品に登録します。本製品をつないだテレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書を準備してください。

1



もくじを開き、USB HDD 登録関連のページを探す
※項目例を参考にしてください。

項目例

- USB ハードディスクを本機に登録する
- USB ハードディスクを初めてつなぐ
- USB ハードディスクを初期化する

2

上記操作方法のページを開き、手順を確認する

テレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書の手順にしたがって、登録します。

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

【参考】以下の機種については、本書で登録方法を説明しています

※非対応の機種もあります。【動作環境】(27 ページ) をご確認ください。

※本書の手順は一例です。モデルにより異なる場合がありますので、必ずテレビの取扱説明書をご確認ください。

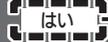
- 【参考】〈レグザ〉に登録する場合 (18 ページ) Z10X シリーズ
- 【参考】ブラビアに登録する場合 (20 ページ) X8500B シリーズ
- 【参考】アクオスに登録する場合 (22 ページ) V7 ライン
- 【参考】Woodに登録する場合 (24 ページ) V09 シリーズ
- 【参考】リアルに登録する場合 (25 ページ) LB5 シリーズ
- 【参考】LG 製テレビに登録する場合 (26 ページ) LA8600 シリーズ

1 〈レグザ〉の電源をオンにする

2

通常録画用機器の登録（端子C）

新しいUSBハードディスクを検出しました。
通常録画用に登録しますか？
登録時にハードディスクは初期化されます。



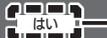
[はい]を選び、

決定を押す

3

通常録画用機器の登録（端子C）

登録時にUSBハードディスクを初期化します。
よろしいですか？
接続されたハードディスクの内容は消去されます。



[はい]を選び、

決定を押す

4

通常録画用機器の登録（端子C）

登録名：ハードディスク1
登録名を変更しますか？

はい



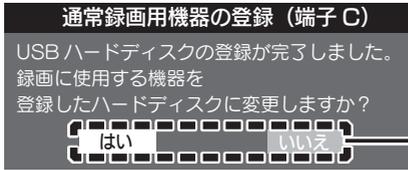
[いいえ]を選び、

決定を押す

初期化がはじまります。

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[はい]を選び、画面の指示にしたがいます。

5



説明を読み、
[はい] または
[いいえ] を選び、

決定 を押す

※本製品をリモコンの **録画** を押しての録画や予約録画する機器にする場合は、
[はい] を選びます。
この設定は、録画や録画予約の際に変更することができます。

6



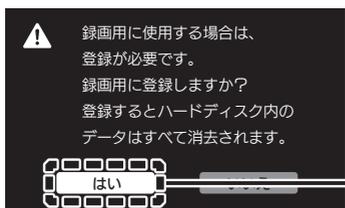
登録内容を確認し、

決定 を押す

これで登録はできました。

1 ブラビアの電源をオンにする

2



[はい]を選び、

決定を押す

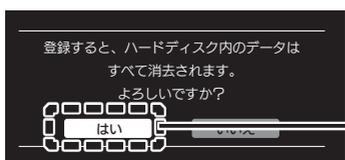


手順2の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください

①リモコンの **ホーム** ボタンを押し、画面右上の **設定** (設定) を選ぶ② **機能設定** (機能設定) を選び、**決定** を押す
本機を便利につかうための設定をします。③ **録画用 HDD (ハードディスク) 設定** (録画用 HDD (ハードディスク) 設定) を選び、**決定** を押す
[HDD 録画] と書かれた USB 端子につないだハードディスクの設定をします。④ **録画用に登録** (録画用に登録) を選び、**決定** を押す
接続中のハードディスクを録画用に登録します。

このあと、上記手順2の画面が表示されます。

3



[はい]を選び、

決定を押す



4



[はい]を選び、
決定を押す

5



[はい]を選び、
決定を押す



初期化がはじまります。

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[いいえ]を選び、画面の指示にしたがいます。

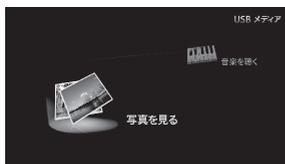
6



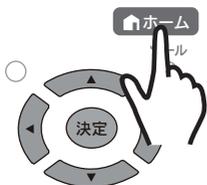
[決定]を選び、
決定を押す

これで登録はできました。

- 1 アクオスの電源をオンにし、下の画面が表示されるまで待つ

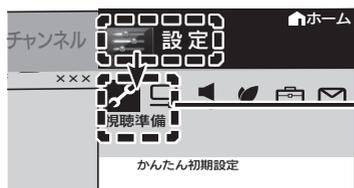


2



リモコンの **ホーム** を押す

3



[設定] →
[(視聴準備)]
を選び、
決定 を押す



4



[USB-HDD 設定]
を選び、
決定 を押す



5



[機器の初期化] →
[する] を選び、
決定 を押す



6

機器の初期化

USB-HDD を本機での録画専用
に初期化をします。

接続機器数 1 : [○]
接続機器 USB-HDD : [○]
登録台数 1台/16台 : [○]

初期化を行いますか?

する



[する]を選び、
決定を押す

7

機器の初期化

初期化するとこのUSB-HDDに
保存しているデータはすべて
消去されます。初期化後、
このUSB-HDDは本機での
録画専用となります。

初期化を行いますか?

する



[する]を選び、
決定を押す

初期化がはじまります。

8

機器の初期化

初期化が完了しました。
[USB-HDD 1]

確認

ファミリンク操作パネルや、リモコン
のボタンからUSB-HDDの再生や
録画を行うことができます。
リモコンのボタンから録画するには
録画機器選択での設定が必要です。



内容を確認して、
[確認]を選び、
決定を押す

これで登録はできました。

[録画機器選択]画面が表示された場合

録画機器選択

リモコンの録画ボタンで録画する機器
を設定します。

録画時に選択する

USB-HDD 1 USB-HDD

ファミリンクレコーダー

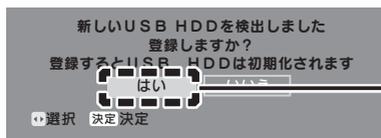
◆項目選択 決定 実行



登録された本製品を
選び、
決定を押す

1 Woooの電源をオンにする

2



[はい]を選び、
決定を押す

3



[はい]を選び、
決定を押す

▼
初期化がはじまります。

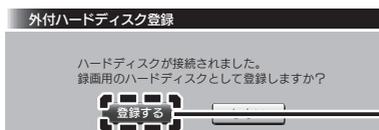
4 「USB HDD を登録しました」と表示されることを確認する

これで登録はできました。

【参考】リアルに登録する場合

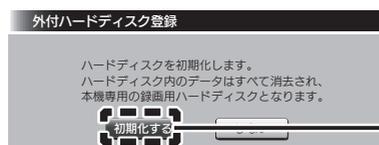
1 リアルの電源をオンにする

2



[登録する]を選び、
決定を押す

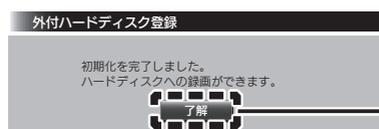
3



[初期化する]を
選び、
決定を押す

▼
初期化がはじまります。

4

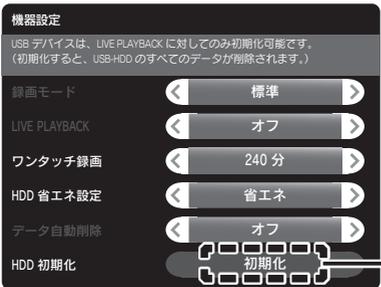


[了解]を選び、
決定を押す

これで登録はできました。

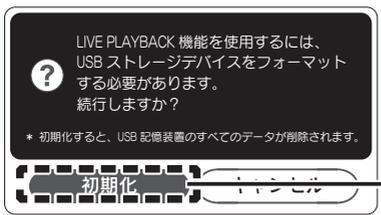
- 1 テレビの電源をオンにする
- 2 リモコンの[ホーム[🏠]]ボタンを押す
- 3 [録画設定]を選び、を押す
- 4 [機器設定]を選び、を押す

- 5



[初期化]を選び、
を押す

- 6



[初期化]を選び、
を押す

▼
初期化がはじまります。

- 7 「初期化は終了しました。」を表示されたことを確認する

これで登録はできました。

仕様

動作環境

パソコン

USB 3.0/2.0 を装備したパソコン

※弊社製 USB 3.0/2.0 インターフェイスを装備したパソコンを含む

Windows パソコン	Windows 8.1(32/64 ビット版) Windows 8(32/64 ビット版) Windows 7(32/64 ビット版)
Mac	Mac OS X 10.7 ~ 10.10

※ USB 3.0 の動作は、弊社製 USB 3.0 インターフェイスで確認しています。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。

※ USB 3.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS(ドライバを含む)が USB 3.0 に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 2.0 として動作します。

※より詳しい対応機種情報は、対応検索エンジン「PIO」をご覧ください。
<http://www.iodata.jp/pio/pc.htm>



テレビなどの AV 機器 (2015年1月現在)

一部の AV 機器ではご利用いただけない場合があります。

AV 機器の型番ごとに認識可能な容量が異なります。

より詳しい対応機種情報は、対応検索エンジン「PIO」をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/pio/kaden.htm>



東芝ハイビジョン液晶テレビ〈レグザ〉

シャープ 液晶テレビ「アクオス」

ソニー 液晶テレビ <ブラビア>

三菱 液晶テレビ <リアル>

I-O DATA 地デジチューナー搭載メディアプレーヤー

東芝 レグザブルーレイ

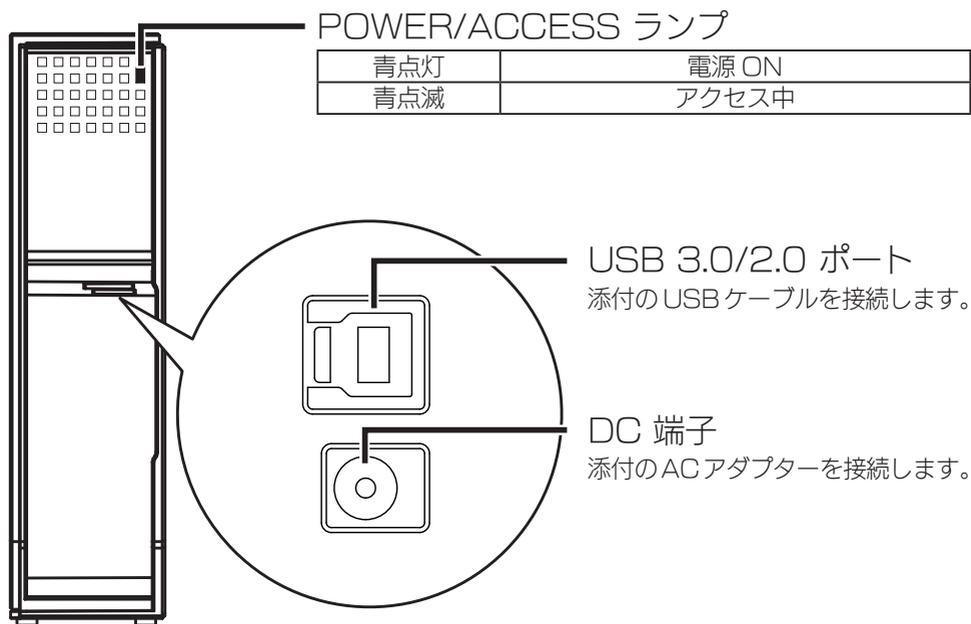
シャープ アクオスブルーレイ

日立 液晶テレビ「Wooo」

LG Electronics 製 液晶テレビ

各部の名称・機能

背面



設置方法について

本製品は横置き可能です。どちらの面も下にできます。下にする面の四すみに添付のゴム足を貼ってご使用ください。

本製品を積み重ねたり、複数台を密着させて設置しないでください。故障の原因となります。

電源連動機能について

- 接続する機器によっては、電源連動でオフにならない場合があります。この場合は、ACアダプターを抜いてオフにしてください。
- パソコンの電源ランプが消灯しても、本製品の動作音が数回する場合があります。これは本製品の正常な動作ですのでそのままお使いください。

ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.0、USB 2.0
出荷時フォーマット	NTFS
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz
使用温度範囲	5 ~ 35°C (接続機器の動作範囲であること)
使用湿度範囲	20 ~ 80% (結露なきこと、接続機器の動作範囲であること)
本体質量 (本体のみ)	約 1.0kg
外形寸法 (本体のみ)	約 43(W) × 160(D) × 160(H)mm

パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後に OS に表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

●本製品の容量

1G バイト = 1,000M バイト、1M バイト = 1,000,000 バイトで計算

●OS 上で表示される容量

1G バイト = 1,024M バイト、1M バイト = 1,048,576 バイトで計算

例) 2T バイトのハードディスクの場合

仕様容量：約 2T バイト

OS 上の表示：約 1,862G バイト

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない



火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない



感電の原因となります。

ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない



水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- ・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に乗らないでください。
- ・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
- ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない



火災の原因となります。

決められた電源で使用する



所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない



本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品の小さな部品（ゴム足など）を乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 警告 ●電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない



電源コードから発煙したり火災の原因になります。

AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントに接続しない



発熱、火災の恐れがあります。

電源コードにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などしない



火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器に接続しない



添付の電源コードや AC アダプターは本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない



火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない



電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない



テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない



破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない



足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

使用上のご注意

- 本製品を接続時、他の USB 機器を使う場合に以下にご注意ください。
 - ・本製品の転送速度が遅くなることがあります。
 - ・本製品を USB ハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンの USB ポートに直接、接続してください。
- 起動用ドライブとしてはご使用いただけません。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS 起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。
- ご利用のパソコンにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけません。
- 本製品についた汚れなどを落とす場合は、AC アダプターを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
 - ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
 - ・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
 - ・市販のクリーニングキットは使わない。
- 譲渡・廃棄の際のご注意
 - ・データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。弊社製「DiskRefresher3 SE」をダウンロードしてご利用いただけます。(6 ページ参照)
 - ・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/support/>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3015

※受付時間 9:00~17:00 月~日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



修理について

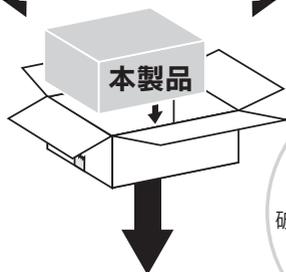
修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書または
お買い上げ時のレシート

メモ

●氏名 ●住所
●電話番号 ●FAX 番号
●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の
修理依頼書を印刷すると便利です。



梱包は厳重に!

弊社到着までに
破損した場合、有料修理と
なる場合があります。

宅配便で送付

紛失をさけるため宅配
便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等ににしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 5) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 10) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 11) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 12) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重大過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provide s the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
 - 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
 - 4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
 - 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
 - Microsoft および Windows は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
 - Mac、Mac OS および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
 - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

2014.1.16

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
ホームページ <http://www.iodata.jp/>